

ケアホームさくら荘 家庭のぬくもりそのままに・・



寿司パーティー

たくさんのお寿司♪

目の前で生捌き!!



社長による職員紹介

今回は、ケアタウン飛鳥所属の介護職、古賀さんの紹介です。小学生の頃、施設に入っていた祖母に面会に行った際、重度の認知症で会話も噛み合わないほどの状態ではあったが、帰る際毎回笑顔でお見送りしてくれた姿が印象的で、自然と介護職を目指した。九州保健福祉大学を卒業後、介護福祉士として現場に入った。現場では教科書でイメージした理想とは程遠く、毎日業務に追われ、利用者様一人ひとりと向き合う余裕がなく、悩んだ時期もあったそうだ。理想の施設を追い求め約10年間で数か所経験し、昨年9月に当社に入社した。体も大きく、おっとりしたイメージの彼で、すっかり癒し系キャラが定着しつつあるが、利用者様には安全な生活を。そして、ご家族様には安心を提供したいと日々取り組んでいる。そんな彼の休日は、家でゴロゴロ…食べてはゴロゴロ…。おかげで、日に日にふくよかになっているそうな(笑)。目標は、ずばりダイエット!! 目指せ-20キロ!! 引き締まって、笑顔を振りまきながら働く古賀さんを期待したい!!

古賀 宗樹さん



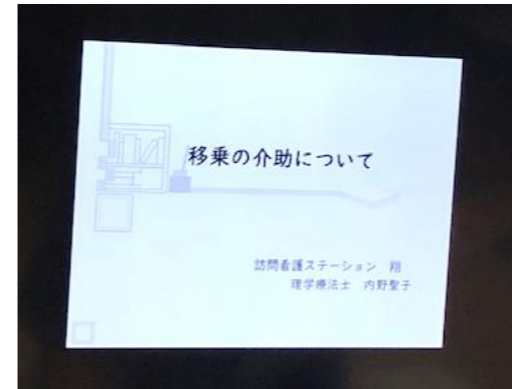
社は「利他の心」

ひじりにズームイン!!

令和2年 3月号

皆さんこんにちは。「介護のプロ委員会」です。

私たち「介護のプロ委員会」は、利用者様に安心・安全なケアを提供出来るように、スタッフ全員の介護技術の向上を目的として活動しています。今回は2月18日に行われた全体ミーティングで、「移乗の介助について」をテーマに勉強会をしましたので、その様子をご紹介します。



講師は訪問看護ステーション翔の超ベテラン理学療法士！
内野聖子さんです！！



利用者様に苦痛を与えない移乗方法はもちろんですが、スタッフも楽に介助できる方法を勉強しました。普段私たちが自然にしている介助方法の根拠まで説明してもらいました。おひとりおひとり体の状態は違いますし、持っている病気も違います。その方にあった介助をすることで、怪我も減らせることが出来ます。

介護のプロ委員会の勉強会は、2か月に1回定期的に行っています。今後も、利用者様にはもちろん、家族様にも安心していただけるよう努力していこうと思っています。



有限会社 聖

住宅型有料老人ホーム ケアタウン飛鳥
住宅型有料老人ホーム ケアホームさくら荘
デイサービス陽だまり (通所介護)
訪問看護ステーション翔 (訪問看護)
ケアサポートセンターひじり (居宅介護)
ケアセンターさくら (訪問介護)

ケアセンターさくら便り

ケアタウン飛鳥で勤務されていた蘭田孝平さんが2月21日より、さくら荘勤務となりました。本人は、体が人1倍ではなく2倍ほど大きいのですぐにわかると思います。ご家族の皆様、よろしくお願ひいたします。スタッフ個人に合わせた研修の年間スケジュールを組む時期となりました。知識の吸収をして持ち帰り仲間に伝え活かしていきたいと思ひます。

お洒落なシティ感覚 ケアタウン飛鳥



鬼がきたー

節分



鬼だぞー

鬼は外～

2月3日に豆まきを行いました。皆様、スタッフ手作り、新聞紙のボールを施設長鬼に向かって投げていました(^^)
「鬼は外！福は内!!」利用者様の、大きな声が施設いっぱいに響きわたっていました♪



鬼は～外～



福は～内～



【訪問看護ステーション翔からのお知らせ】

今、世間を賑わせている新型コロナウイルスについて感染確認は70000人を超えており死者は1700人を上回っています。一人一人が出来る対策を知っていることも大切です。①石鹸やアルコール消毒②咳などの症状がある場合は咳エチケット③適度な湿度(50～60%)を保つ④体調管理を行う。先日、薬局へ開店前に行くと大勢の人が並んでおりマスクコーナーへ走って買いにいらしているのを見かけました。マスクでは感染は予防できません。個人が正しい知識、情報収集を行い異常時には普段と違うな？という感受性を豊かにして医療機関を早めに受診するようにしましょう。自分が感染を広げないように心がけて行きましょう。

☆節分☆

鬼に扮したスタッフに向かって、「鬼は外！」たまに、鬼に扮していないスタッフに向かってボールが飛んできます。なぜ！?(笑)



つお豆を箸で上手にかめるかな？



玉投げゲームも頑張りました！



おやつ作り

2月はバレンタイン♡ということで、チョコ入りクッキーを作りました。



きれいに焼けました☆

焦げてませんか？笑

農作業

陽だまりファームでは、スタッフNさんが中心となって野菜作りをしています！ラディッシュ、大根、ホウレン草などなど。みなさん、楽しんで作業されています。つくる喜びって大事ですね。



ケアサポートセンターひじりからの介護保険便り

季節は春になりますが、利用者の中には寒くなると、関節が痛くなると言われる方も多いです。なぜでしょうか。関節痛の原因は様々な要因があり、多岐にわたりますが、寒くなると痛みを感じる場合は「**血流の減少**」です。関節痛は発痛物質が神経を刺激して起きる痛みで、その発痛物質の生産には血流が影響を与えている。さらに痛みは自律神経を興奮させ、筋肉および血管を収縮させて同じ現象を繰り返します。これは「**痛みの悪循環**」と呼ばれています。この悪循環に陥ると症状は慢性化してきます。暖かくなって、少しでも関節の痛みが良くなるように運動も継続していきましょう。